

Rainbow Times

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げ、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、被災された地域の方々のご健康を心よりお祈り申し上げます。

H23 公開講座 Dr.F.W.Putnam

「児童福祉施設に入所している子どもの解離症状の理解と対応」開催しました！



Dr.F.W.Putnam



10月11日(火)、センターにて「児童福祉施設に入所している子どもの解離症状の理解と対応」をテーマに、子ども虐待研究の権威であるパトナム先生を招聘し、公開講座を開催しました。

講演では、虐待を含めた逆境体験が子どもの全人生、そして世代を超えて大きな影響を与えることについてエビデンスを示して下さいました。子どもの解離症状についても具体的な行動をお話し下さり、参加者は関わっている子どもを思い浮かべながら聞くことができました。また、人生早期の脳の発達やアタッチメント形成の重要性など、初期発達や人生早期の予防的取り組みがいかに大切か強調されました。さらに、社会的養護の子どもたちに対しても用いることができる養育プログラムについてもご紹介下さり、子どもの理解と支援につながる有意義な時間となりました。

パトナム先生は「子どもは関われば確実によくなっていくもの」という言葉を残されました。対応が難しいケースが増えている中、この言葉は援助者にとって勇気づけられました。講演をまとめたDVDを作成する予定です。期待して待っててください！

当日はなんと270名ほどの参加者で、第2会場も設けました。これはセンター開設以降初めての多さで、その分ご不便をおかけした面があるかと思ひます。ご理解・ご協力頂き感謝申し上げます。(南山)

第5回子ども虐待防止

オレンジリボンたすきリレー 開催されました！

10月30日(日)第5回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが実施されました。今年は湘南コース(全50km)、都心コース(全50km)に加え、鎌倉・三浦コース(全45km)を新設し、3コースを述べ約350名のランナーがオレンジ色のたすきをリレーでつなぎ、横浜・山下公園へゴールしました！新設の鎌倉・三浦コースでは大仏に手を合わせてスタートし、湘南コースでは新中継点となった平塚競技場では視覚障害の方や子どもたちが参加しました。都心コースでは昨年に引き続き渋谷八公前からスタートしました。毎年全区完走している東京都の井上さんは、なんと前日行われた滋賀県たすきリレーにも参加し、当日はそのたすきをつけて走りました！

ゴール会場の山下公園をはじめ各中継地点では昨年に増してにぎわいをみせ、多くの方がご来場くださいました。今年は東日本大震災の復興サポートブースも3か所設け、キルト作家の協力のもと「祈りのFriendshipキルト」を作成し、各所でキルトに多くの方から子どもたちへのメッセージを頂きました。毎年キルトをつなげていき、約16mの大きなたすきを目指しています！

今回も栃木県小山市、岐阜県、滋賀県でたすきがつながれました。さらに、岩手県の被災地より手編みのニットたすきが届けられました。たすきリレーの輪がますます広がっていくことを願っています。ご協力くださった皆様、ありがとうございました！(南山)



写真:NPO虹のリボン事務局



「内閣府特命担当大臣表彰」が授与されました！

11月22日、総理官邸(!)で、センターのこれまでの活動を評価され、**子ども・若者育成支援部門**において、蓮舫特命担当大臣より表彰を受けました。多くの方のご理解・ご協力に感謝するとともに、改めて気を引き締めて励んでいく所存です。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

